

# 令和2年度環境とやま県民会議 事業計画

## 1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。こうした中、本年3月には、富山県、(公財)とやま環境財団、富山県婦人会及び富山県消費者協会により、「とやまゼロカーボン推進宣言」の共同宣言が行われたところである。

また、本年7月からは本県のレジ袋無料配布廃止の取組みを参考に、全国一律のレジ袋有料化義務化が開始されるが、厚さや素材によって一部の袋は有料化の対象外とされているところであり、本県では、このような例外を設けず、環境先端県としてこれまで実施してきた県民・事業者連携の取組みを継続し、県民の高い環境保全意識を一層向上する必要がある。

こうしたことから、当県民会議では、引き続き統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図るとともに、とやま環境フェアなど各種イベントを開催し、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけることとする。

また、当県民会議では、「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」と「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開するものとする。

## 2 事業内容

### (1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

#### <循環型社会づくり>

##### ① とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業の実施

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動を促進するとともに、全国一律のレジ袋有料化義務化を機に、新たに「エコ・ストア」としてレジ袋無料配布廃止等に取り組む事業者を募集・登録し、その活動を支援するなど、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進する。

##### ② プラスチックトレイ削減・転換事業の実施

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県
- ・内 容 プラスチックの排出抑制を図るため、日常生活で多く排出される食品トレイについて、スーパー等におけるノートレイや紙トレイなどへの転換を行うモデル事業を実施し、プラスチックトレイの削減効果、消費者の反応などを検証するとともに、課題の解決策や事業の展開方策を検討する。

③ レジ袋無料配布廃止全国展開記念事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 本県発の取組みの全国展開を記念して、小型マイバッグの作成・配布により、一層のエコライフの実践・定着を啓発する。

④ 家庭系食品ロス削減対策事業の実施

- ・主 催 富山県
- ・内 容 本県の食品ロスの課題である「手付かず食品」の削減に向けて、家庭の未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブについてモデル実施するとともにマニュアル作成等を行う。

また、楽しみながら食品ロス削減に取り組めるサルベージ・パーティについて、講師として活動を希望する方を募集・認定し、開催を希望する団体等とのマッチングを行うとともに、交流会を開催する。

⑤ 食品ロス削減全国大会の開催

- ・主 催 富山県、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会
- ・共 催 消費者庁、環境省、農林水産省
- ・実施時期 令和2年10月30日(金)、31日(土)
- ・内 容 食品ロス削減に向けて、市町村、事業者、消費者団体との連携強化とさらなる取組みの促進を図るため、基調講演、パネルディスカッションなどを実施するとともに、本県の先駆的な取組みを全国に発信する。

⑥ いつでも、どこでもリサイクル促進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 民間事業者等による資源物の回収拠点を認定し、住民に啓発することで、資源物回収量のさらなる増加を促進し、再生利用率の向上を図る。

⑦ 使い捨てプラスチック削減促進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 化石資源由来の使い捨てプラスチック容器からバイオマスプラスチックへの素材転換を促進するため、食料品製造業や小売業等の中小企業によるバイオマス由来の原料を使用した代替品の導入に対して補助を実施する。

⑧ とやま環境フェアの開催

- ・主 催 とやま環境フェア2020開催委員会
- ・実施時期 令和2年10月10日(土)、11日(日)【3R推進月間】
- ・会 場 高岡テクノドーム(富山県産業創造センター)(高岡市)
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行う。

### ⑨ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 環境とやま県民会議、富山県
- ・実施時期 令和2年10月10日(土)又は11日(日) (とやま環境フェア2020と併催)  
【3R推進月間】
- ・内 容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深め、ごみゼロ社会への取組みを推進するため、功労者表彰や活動報告等を行う。

## <低炭素社会づくり>

### ①エコドライブ推進運動の実施

#### (ア)エコドライブの推進

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 令和2年4月～令和3年3月
- ・内 容 二酸化炭素排出量の削減だけでなく、燃費向上や交通安全にもつながるエコドライブについて継続した実践を促すため、各種イベント等において普及啓発を行う。  
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、エコドライブ実践者の拡充を図る。

#### (イ)エコドライブ実践促進事業

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 令和2年10月10日、11日
- ・内 容 気軽にエコドライブを体験できる機会を提供するため、とやま環境フェア会場において、仮想的にエコドライブを体験できるシミュレーターを用いた体験会を開催するなど、エコドライブの一層の定着・拡大を推進する。

### ②ノーマイカー運動への参加

- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・内 容 公共交通の利用拡大と環境負荷低減を目的に実施されるノーマイカー運動に参加することで、過度にマイカーに依存した生活を見直し、エコライフスタイルへ転換するきっかけとする。

### ③「COOL CHOICE」の普及促進

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・内 容 各種講習会や環境イベントを通じて、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択などの普及啓発を行い、地球温暖化対策に資する国が展開している国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の拡大・定着を図る。

#### ④クールビズ、ウォームビズ、うちエコ！の実践

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践する。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践する。

さらに、クールビズ、ウォームビズの取組みをオフィスから家（うち）の中まで広げて「うちエコ！」の普及を図る。

#### ⑤エコアクション 21 推進事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団（エコアクション21地域事務局）
- ・実施時期 令和2年4月～令和3年3月
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション 21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、事業者の認証・登録を促進し、持続可能な社会づくりを図る。

### (2)環境教育・環境保全活動の推進

#### ①エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに関する、「エコライフ・イベント」を実施する。また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を図る。

#### ②環境保全・環境教育に関する活動支援事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談に対応するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じて情報発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図る。

#### ③とやま環境未来チャレンジ事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 10歳の児童が家族とともに10項目の地球温暖化対策に取り組む「とやま環境チャレンジ10事業」に、3Rの推進や食品ロスの削減などの内容を追加し、児童と家族の環境保全意識の高揚及びエコライフの定着を図る。

#### ④スターウォッチング推進事業の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団

- ・開催時期 令和2年8月頃
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気や街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、星空観察会を開催する。

#### ⑤はじめてのエコライフ教室の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 幼児期から(家族ぐるみで)エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「初めてのエコライフ教室」を実施する。

#### ⑥SDGs理解促進・環境教育推進事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 県内全体で幅広い年代におけるSDGsについての理解促進を図るため、企業経営者層を対象としたセミナーを開催するとともに、SDGsに関し積極的に取り組んでいる企業・団体と若年層(学生・生徒)の意見交換会や小中学生向けの講演会・イベントを通じて次世代の環境保全意識の高揚と関心を高める。